



フォーサイド グループ 2020年12月期第3四半期 決算説明資料

補足説明資料



2020年12月期第3四半期 連結業績ハイライト

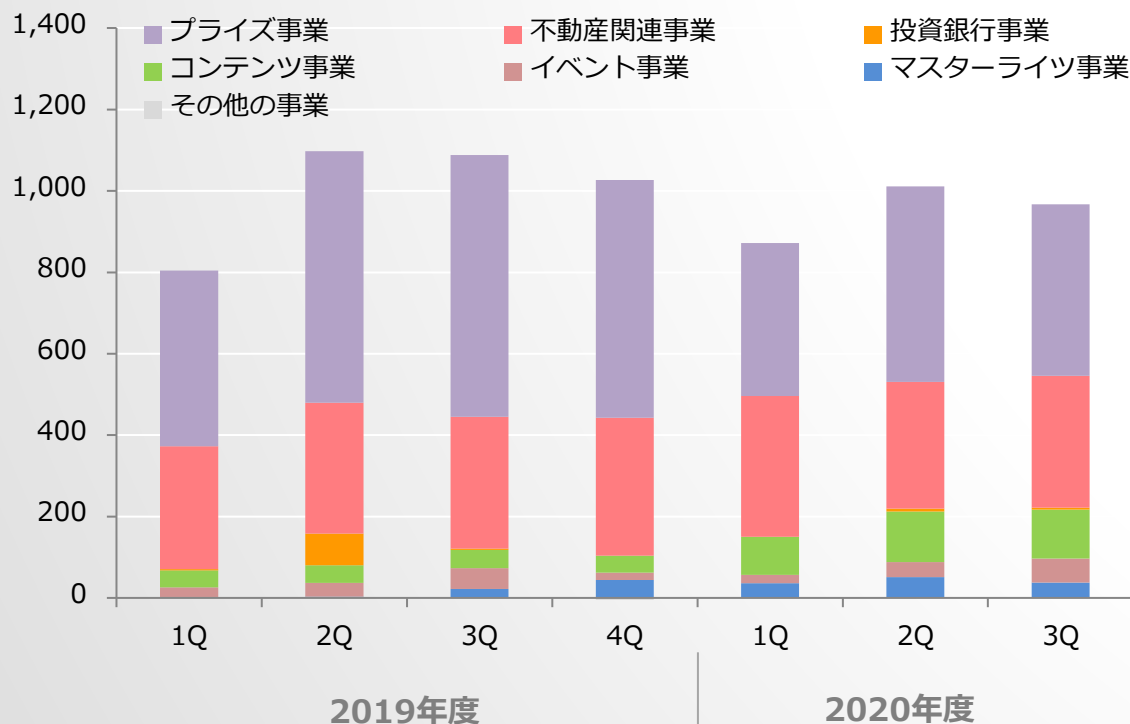
(単位：百万円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年同期比	主な増減要因・傾向
営業収益	3,017	2,859	94.8%	2020年12月期第3四半期においては、不動産関連事業が順調に推移したことに比べ、映像制作事業が第1四半期よりグループインしたことで、営業収益を押し上げた。一方、新型コロナウイルスの影響で多くの取引先が休業を余儀なくされたプライズ事業は減収となり、グループ全体での営業収益は94.8%、営業総利益は92.0%と前年同期を下回る結果となった。 利益については、営業収益の減少に比べ、投資銀行事業での案件の遅延や中断が発生したことで、成約件数及び成約金額が低調に推移したこと等から、営業利益の確保にはいたらなかった。 また、事業資産等の評価の見直しや処分を行ったことにより、減損損失、貸倒引当金繰入額等の特別損失を合計で302百万円計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は、前年同期比で大幅に悪化した。
営業総利益	1,346	1,239	92.0%	
販売管理費	1,367	1,359	99.3%	
営業利益	△20	△119	—	
経常利益	1	△68	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△130	△367	—	

プライズ事業及び投資銀行事業の減益により、営業利益の確保にはならず
1Qで計上した特別損失により、純利益は大幅な赤字に

営業収益の推移

(単位：百万円)



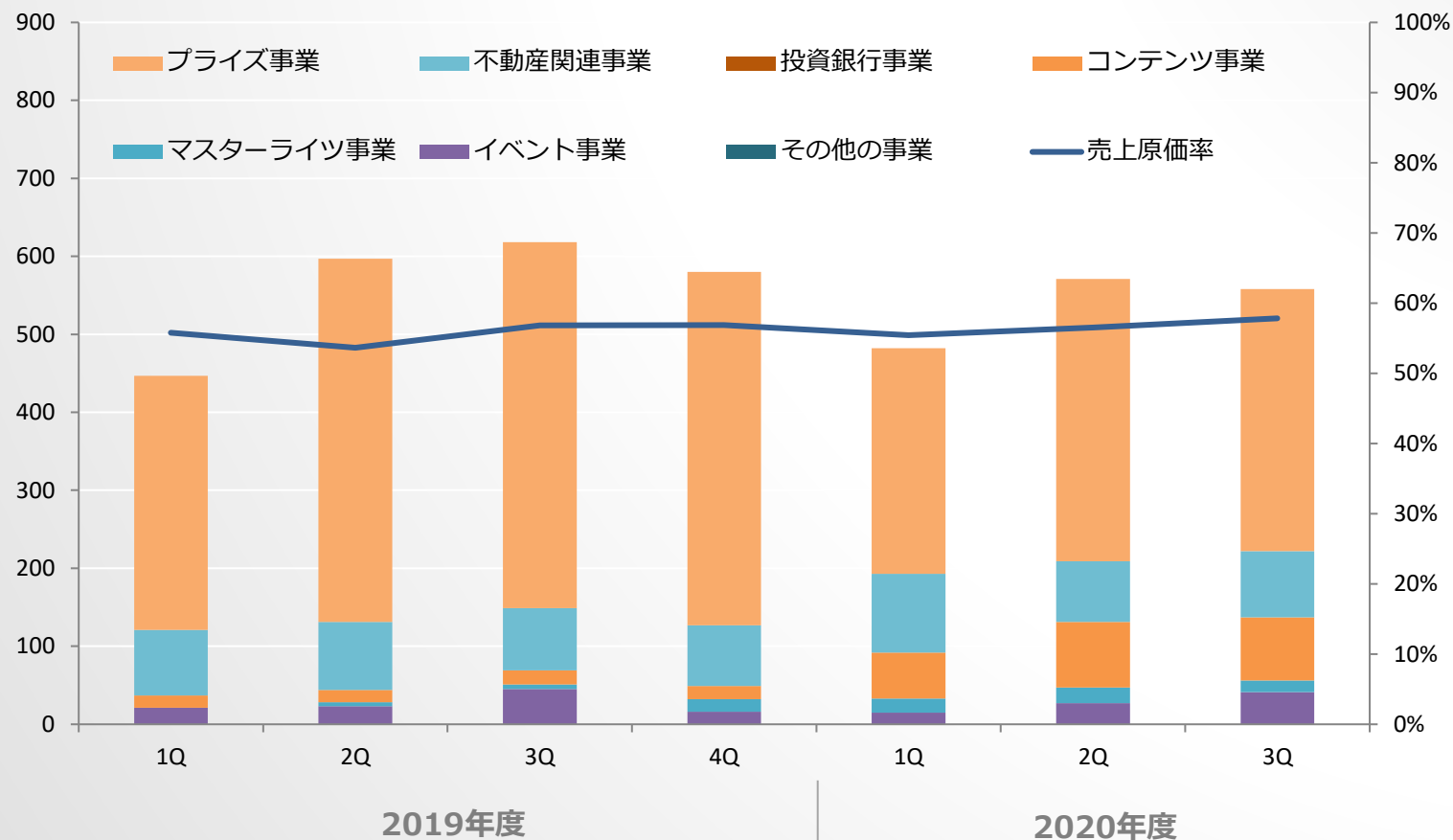
経済活動の再開により持ち直しの動きは見られたものの
前年同期比では減収

セグメント別の主な増減要因

プライズ事業	※プライズ事業では、緊急事態宣言解除後の取引先の営業再開に伴い、出荷の再開、販売の持ち直しの動きがみられるも、感染拡大の第二波が懸念される等、再び慎重な消費動向が続いたことで、前年比で減収減益となる。
不動産関連事業	※不動産関連事業では、2020年4月の民法改正等を受け、新規獲得件数及び継続保証料は順調に推移。また、公的支援制度の整備、拡充が進んだことで、家賃滞納者の大幅な増加は見られず、前年比では増収増益を達成。
投資銀行事業	※投資銀行事業では、景気後退懸念や将来の不透明感がM&A市場に及ぼす影響は大きく、案件の遅延や中断が発生。売上高及びセグメント利益ともに前年比で大幅に減少。
コンテンツ事業	※コンテンツ事業では、巣ごもり消費の継続から、電子書籍は堅調に推移。映像制作事業では、ミュージックビデオの撮影を再開し、制作受託件数は緩やかな回復傾向にあるが、制作コストの高止まりが改善されず、前年比では増収減益となる。
マスターライセンス事業	※マスターライセンス事業では、オンラインでのグッズ販売を継続し、無観客ライブの配信や観客動員数を大幅に抑えたライブ活動を順次再開する等、堅調に推移。出版事業では、2020年10月号から復刊するも、事業全体では増収減益にとどまる。
イベント事業	※イベント事業では、イベントの多くが中止や延期となる中、その他OEM物販が好調に推移したことで、増収を達成するも、黒字化までには至らず。
その他の事業	※金融事業では、貸付金の回収に注力するも、前年比で減収減益となる。

原価の推移

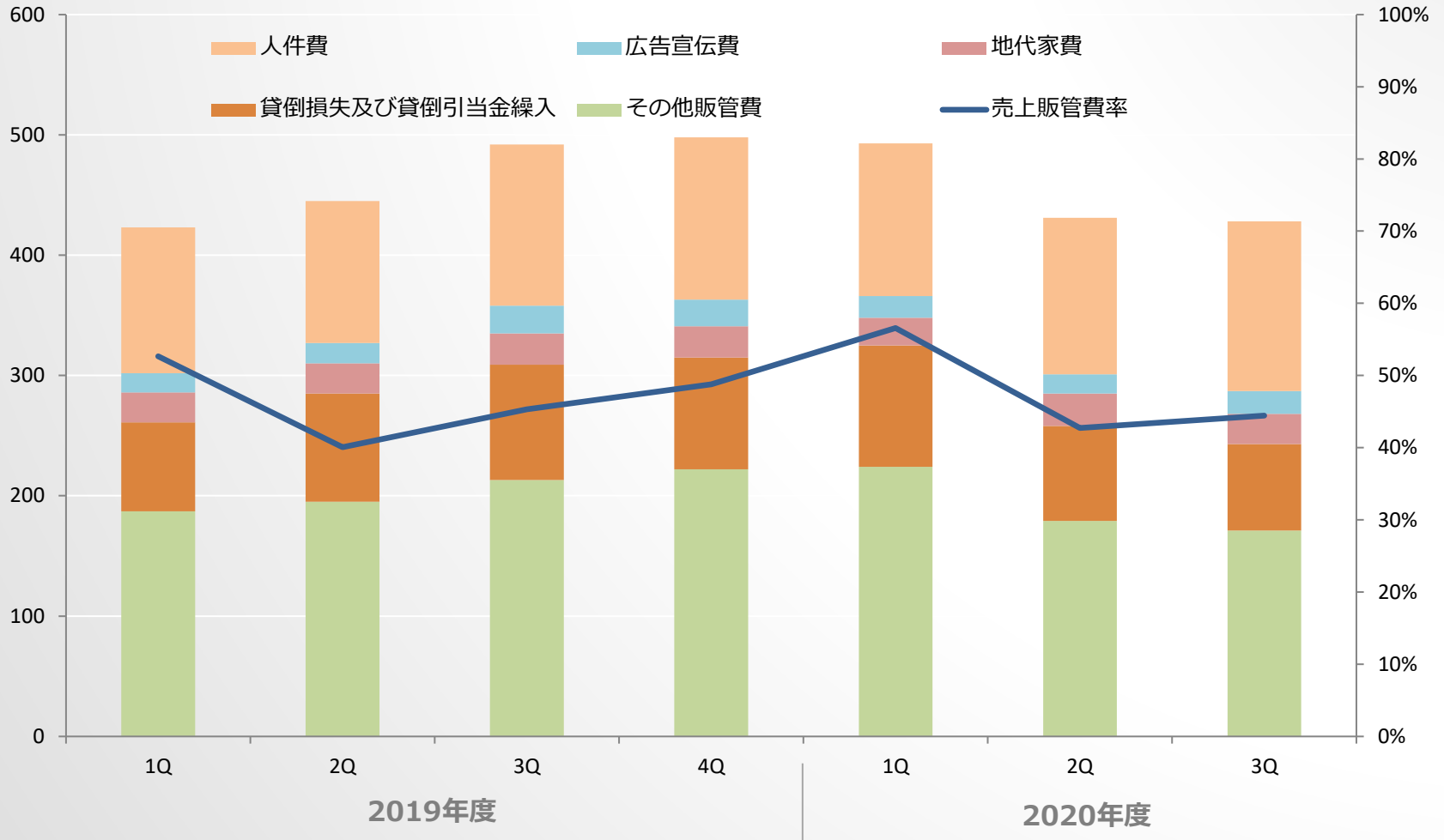
(単位：百万円)



コストコントロールを再度見直し、売上原価率の抑制に努める

販売管理費の推移

(単位：百万円)



オンラインを使った営業活動等、withコロナに対応することで、一定の費用削減を達成

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年度 12月期	2020年度 第3四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	3,687	3,621	△66	資産については、現金及び預金の増加354百万円、受取手形及び売掛金の減少177百万円、投資有価証券の減少188百万円及びのれんの減少170百万円等により、前年度末に比べ66百万円の減少となった。
負 債	2,262	2,546	284	負債については、長期借入金（1年以内返済予定含む）の増加239百万円等により、前年度末に比べ284百万円の増加となった。
純資産	1,425	1,074	△350	純資産については、親会社株主に帰属する四半期純損失367百万円等を計上したこと等により、前年度末に比べ350百万円の減少となった。

(注) 2020年11月13日現在、発行済株式総数は32,557,704株、資本金は1,432百万円、資本準備金は1,973百万円です。

当期純損失の計上により、純資産が大幅に減少



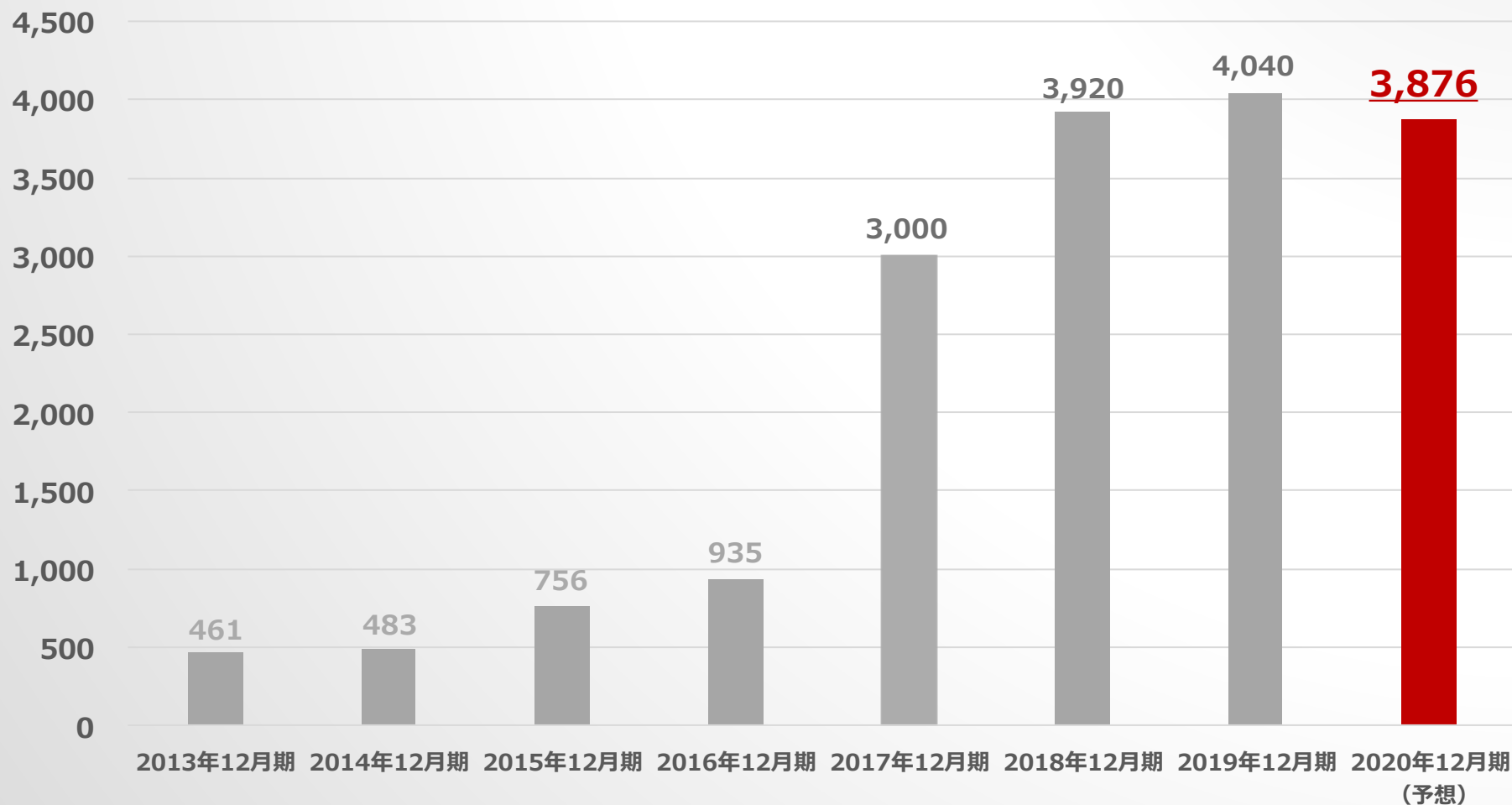
2020年12月期の業績見通し

連結営業収益（通期予想）

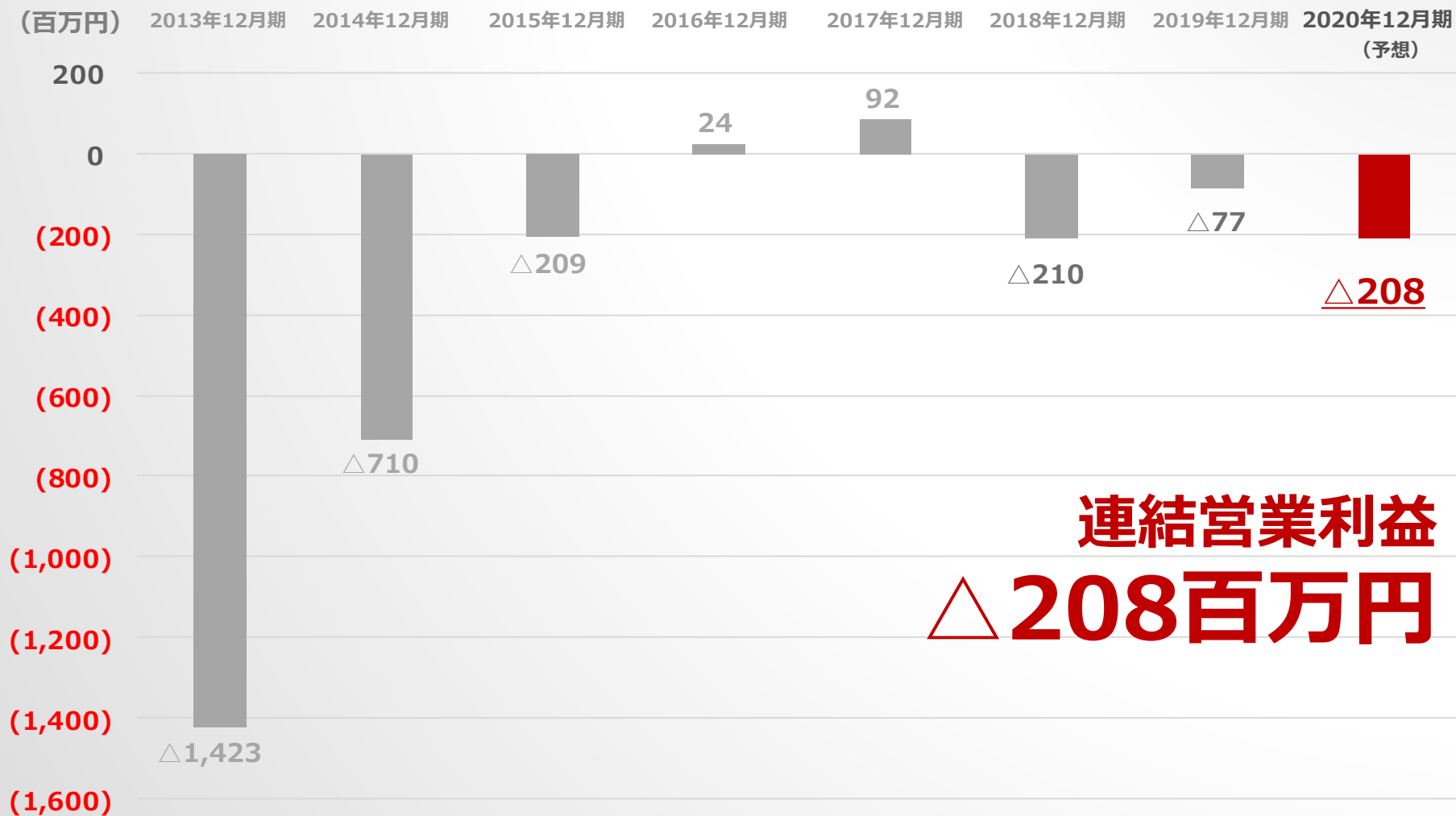
連結営業収益**38億76百万円**

（前年比4.1%減）

（単位：百万円）



連結営業利益（通期予想）





参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会 社 名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所 在 地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設 立 日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資 本 金

1,432,534,136円 (発行済株式総数32,557,704株)

経 営 陣

代表取締役 根津 孝規 取締役会長 泉 信彦 常務取締役 飯田 潔
取 締 役 吉田 生喜 取 締 役 濱田卓二郎
常勤監査役 法木 右近 監 査 役 田辺 一男 監 査 役 瀬山 剛

顧 問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事 業

- ・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
- ・投資銀行業務

主な子会社

- ・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・制作・販売/イベント企画・運営
- ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業
- ・(株)モビぶっく：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業
- ・フォーサイドフィナンシャルサービス(株)：M&Aのアドバイザー業務
- ・フォーサイドリアルエステート(株)：不動産投資事業/不動産販売事業/管理事業
- ・(株)マーベラスアーク：音楽関連事業
- ・フォーサイドメディア(株)：出版事業、映像制作事業



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。